

明治日本の 産業と社会



薩埵正邦

主催：法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

第13回(最終回)

薩埵先生の飲んだ 日本酒を考える

明治時代における酒造技術の改良と産地間競争

講師 青木隆浩氏(国立歴史民俗博物館助手)

■1970年東京都生まれ。法政大学文学部卒業、東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了(博士・学術)。2002年国立歴史民俗博物館助手、現在に至る。専門は民俗学・歴史地理学、近現代の清酒製造業や社会規範、文化政策をおもな研究対象とする。おもな著書に『近代酒造業の地域的展開』(吉川弘文館)、『現代民俗誌の地平3 記憶』(朝倉書店、岩本通弥編)などがある。

司会 洞口治夫(法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授)

日時 12月16日(土) 13:30~15:00

会場 法政大学市ヶ谷キャンパス ポアソナード・タワー25階
イノベーション・マネジメント研究センター セミナー室

**参加費
無料**

**定員
50名**

■定員に達し次第、締め切ります。

**申込
方法**

氏名、所属、連絡先の郵便番号・住所・電話番号・E-mailアドレス
および**参加を希望される回**を明記の上、E-mailまたはFAXで法政大学
イノベーション・マネジメント研究センター宛にお申し込みください。

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター
E-mail: cbir@adm.hosei.ac.jp FAX: 03-3264-4690

- 個人情報の扱いは厳重に管理しております。当研究センターに関連するイベント開催等の通知を目的としており、それ以外の目的では使用していません。
- 当日は、お車でのご来場はご遠慮ください。

〈法政大学市ヶ谷キャンパス案内図〉



法政大学市ヶ谷キャンパス ポアソナード・タワー25階
イノベーション・マネジメント研究センター セミナー室

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター



〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
TEL: 03(3264)9420 FAX: 03(3264)4690
URL: <http://www.hosei.ac.jp/fujimi/riim>
E-mail: cbir@adm.hosei.ac.jp

薩埵正邦と法政大学との関わり

法政大学の前身、東京法学社は1880(明治13)年4月に創設されました。1881(明治14)年に東京法学社から講法局が分離独立し、東京法学校と改称されましたが、このとき24歳にして東京法学校主幹を務めたのが、薩埵正邦(さった・まさくに)でした。

薩埵は、1856(安政3)年5月19日、京都市上京区今出川千本東入般舟院前町に石門心学(石田梅岩を祖とする学問流派)を講ずる学者の家に生まれました。1871(明治4)年、満15歳のとき京都仏学校に入学し、同校でフランス人教師レオン・デュリーについてフランス語を学びました。デュリーが京都から東京に移ると恩師に従って上京し、1879(明治12)年に日本政府が民法編纂のために招聘したポアソナード博士に師事しました。

この時期、日本には自由民権運動の高まりがあり、金丸鉄、伊藤修、橋本胖三郎、大原鎌三郎、堀田正忠らと東京法学社を設立しています。金丸、伊藤は、薩埵と並び、東京法学社設立の中心的人物でした。薩埵は東京法学校を辞して、1890(明治23)年、新設された京都の第三高等中学校(後の京都大学)の法学部教授に迎えられて東京を離れました。その後、1897(明治30)年6月14日、42歳で病没いたしました。薩埵の墓所は、京都・大徳寺内の塔頭芳春院にあります。

法政大学イノベーション・マネジメント研究センターは、日本で初めてのデポジット・ライブラリー(保存図書館)として設立され、経済・経営に関わる文書保管に多大な努力を払って参りました。この機会に、明治という時代における日本の産業・企業・社会を展望し、新たな時代への指針を得たいと願っております。

法政大学発展の礎を築いた薩埵の生誕150周年を祝うことによって、福沢諭吉、大隈重信と並びうる明治の知性としての薩埵正邦の業績を顕彰するとともに、法政大学の卒業生、在学生、教職員のユニバーシティ・アイデンティティ(大学への帰属意識)を高めたいと存じます。

薩埵正邦生誕150周年記念連続講演会－明治日本の産業と社会－スケジュール

■下記講演録を順次、ワーキングペーパーとして発行する予定です。ご関心のある方は、当研究センター事務局へお問い合わせください。

- 第1回 2月25日(土)13:30～15:00
『富岡製糸場の歴史と文化』
今井幹夫氏(富岡市立美術博物館館長)
- 第2回 3月11日(土)13:30～15:00
『「近代化」へのまなざし－農書・技術書・錦絵から読み解く「ものづくり」の源流－』
半田昌之氏(たばこと塩の博物館学芸部長)
- 第3回 3月11日(土)15:10～16:40
『明治という時代のなかのマーケティング』
森田克徳氏(静岡県立大学経営情報学部助教授)
- 第4回 4月7日(金)19:00～20:30
『生活水準の歴史的水準比較－近世日本とヨーロッパ－』
斎藤 修氏(一橋大学経済研究所教授)
- 第5回 5月20日(土)15:00～16:30
『石田梅岩(1685～1744)の研究にみる日本人の心－薩埵正邦の思想環境－』
喜田 勲氏(上智大学文学部教授、上智社会福祉専門学部長)
- 第6回 5月20日(土)16:40～18:10
『明治近代化の中の公的扶助と私的救済－今何を学び取るべきか－』
大杉由香氏(大東文化大学環境創造学部助教授)
- 第7回・第8回 6月24日(土)13:00～16:40
『教育者・学校経営者としての薩埵正邦』
岡 孝氏(学習院大学法学部教授)
『明治期財閥形成者の起業家精神』
宇田川勝(法政大学イノベーション・マネジメント研究センター所長)
- 第9回 6月30日(金)19:00～20:30
『フランスの挿絵入り新聞「イリュストラシオン」から見た日仏近代』
朝比奈美知子氏(東洋大学文学部教授)
- 第10回 7月8日(土)13:30～15:00
『フランス語学習者から機械技術者へ－小野正作の明治－』
鈴木 淳氏(東京大学大学院人文社会系研究科・文学部助教授)
- 第11回 7月8日(土)15:10～16:40
『明治のお雇い外国人たちと産業発展の構図』
尾高煌之助氏(法政大学名誉教授)
- 第12回 9月30日(土)15:00～16:30
『漫画にみる明治の新風俗－近代化社会と「進取の気象」－』
湯本豪一氏(川崎市市民ミュージアム学芸室長)
- 第13回 12月16日(土)13:30～15:00
《最終回》『薩埵先生の飲んだ日本酒を考える－明治時代における酒造技術の改良と産地間競争－』
青木隆浩氏(国立歴史民俗博物館助手)

■司会 洞口治夫(法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授)

